

## 「女子漂流」

中村うさぎ・三浦しをん

宿題（書評）の期限は年末でした。

育児奮闘中ということで期限を一番最後にしてもらったのにそれすらも守れない体たらくっぷり。

一体、年末年始の9連休は何をしていたんだろうと我ながら疑問に感じました。

読んだ本は「女子漂流」。

中村うさぎと三浦しをんの対談記。

新聞に三浦さんのインタビューが掲載されていて面白そうだったので読んでみました。

結論からいうと、さほど面白くありませんでした。

買い物中毒を患い、整形を繰り返し、豪快に生きているイメージの中村さんと「舟を編む」で一躍有名になった、現実世界で人との交わりを拒み、漫画をこよなく愛する三浦さん。

真逆とも言える価値観の二人ですが根底の「女」という部分で繋がり、その「女」ゆえの生きづらさなどの対談に花が咲きます。

最後のほうが共感を得られる会話なんですけど前半は最後までこの本を読むことができるのか、そして書評を書けるのがとても不安になるぐらいくだらない会話が続きます。シモネタがかなり多かったです。

時折、ジェンダーのあり方を考えさせられることもありました。  
女の生き方、男の生き方。

世の中から「変わってる人」というレッテルを貼られた二人が それなりに自分自身の人生観を語ってくれています。

深く考えずにあっという間に読めました。